

釣りの随想：④

小物釣り二題(II)

浜田広信 (植田)

趣味

◎アジゴの大食い

終戦後、少し気分も落ち着いたころ。秋の一日、村に居た釣り好きのいとこに二ロギ釣りに誘われた。翌日、隣家の全く素人の青年を連れ三人で浦戸湾へ行つた。舟は瀬戸の貸舟屋で借り、栗山の南方の二ロギの本場で始めた。

その日は、二ロギはそつちのけ。アジゴが大食い。仕合いは市販の疑似針にアミの寄せ、疑似針には枝針が十本付いていて、底に下げると針全部に十四のアジゴが掛かる。これはおもしろい。荷が出来る。そして、しだいに上層に魚を



誘ってくる。これが小物釣りの要領で、釣りの回数を速くすることだ。水面から一層ぐらいの所で釣るようになった。みんないつしよに十四食いつく。それに下から群れのアジゴが釣れた魚の後を追ってくる。こうなると速く外して速く投げ込まねば釣りの成績は上がらない。多忙も甚だしい。しまいにはアミさえあれば、カブラの疑似餌がなくなつても釣り針に平気で食いつくありさま。

隣家の青年が十尾掛かつた魚を舟板の上で外しているが、魚がピンピン強い魚どうしがもつれ合い、外すのに苦勞しているところ

『ほのぼの広場』に、あなたの身の回りのほのぼのとした話題や我が家の自慢料理、読書の感想など、お気軽にご投稿ください。

▼投稿先・〒783 南国市大桶甲一三〇一 南国市役所内広報委員会まで。

を見て、「君が十尾外している間に私が五十尾釣つてみせる」と冗談を言った。大食いときは魚を宙に持つて速く外し、速く釣り糸を投げ込むことだ。

あつたと思う。青年も一貫ぐらい釣つた。帰つて、酒好きのいとこに「ひとつ飲んでいかんか」と誘つたが、「今日は酒どころではない、早く帰つて料理をせねば傷る心配がある」と言つて帰つた。

(つづく)

いつしよに英会話を

勉強しませんか

○日時・毎週水曜日午後六時三十分～七時三十分
○場所・末自聖徒キリスト教会
○参加費・無料

○連絡先・山本(東崎一五六二) 三(☎)1238 午前七時～午前十時三十分、午後九時～午後十時三十分

尺八を吹いてみませんか
琴古流(荒木派)
無料で教えます。練習用の尺八や楽譜などはお貸しします。
○勝童会会員 池添雅寛
(岡豊町八幡10 ☎43276)

古村英幸(植田) 昼休み

勤務時間



ご家庭で話し合つて答えてください。答えは、この広報に出ています。

■もんだい・五月十八日、市立相撲場で恒例の火鎖祭○○大会が開かれました。

■しめきり・6月15日

■あて先・〒783 南国市大桶甲一三〇一 南国市役所内広報委員会親子クイズ係

■答えのハガキには必ず、住所、氏名、年齢、職業を書いてください。

■賞品・正解者の中から、抽選で五人に図書券を進呈。

第11回当選者発表(敬称略)

(応募総数18通)

■答え・抽選

■当選者五人

岸本行雄(岡豊町)

西村早苗(〃)

森田武一(後免町)

山本千歳(十市)

吉川昭二(東崎)